



1号館・特別教室

2019年度 聖句

「わたしがあなたがたを選んだ。
あなたがたが出かけて行って、
実を結び、その実が残るようにと」
(ヨハネによる福音書第15章16節)



CONTENTS

学位記授与式・修了証授与式	2
入学式を迎えて	4
TOPICS	6
地域連携について	7



第53回学位記授与式・専攻科修了証授与式

児童福祉学科198名、専攻科介護福祉専攻8名の皆さん、ご卒業・修了、おめでとうござります。また、専攻科修了生の皆さん、介護福祉士国家試験を全員が合格されましたこと心よりお喜び申上げます。このことは和泉にとって大変に嬉しいことでもあります。

ところで、本学はこの3月で19234名の同窓生を世の中に送り出したことになります。そして、同窓生達は、それぞれの住んでいた地域でのリーダー的存在として、よい働きをしてくれていると聞いています。学校にとって「学生は宝であり、卒業生は財産である」ということは、まさにその通りであり、このことは本学にとって、誇るべきことであります。

さて、現在は「人生100年時代」といわれ、平均寿命は男性で81歳、女性で87歳となり、男女ともに長生きするようになりました。そのような時代を迎え、皆さんには自分の心と身体を大切にし、良い仲間を作りながら、楽しく健康で長生きしてほしいと思っています。

日本は少子高齢化社会、AI社会を迎える予測不可能な社会となりますが、皆さんには、本学で学んだ保育・介護の知識や技術を生かし、「弱い立場にある人たちのために」という本学の強い思いを、共に担つて頂くことを願っています。



2018年度学位記および修了証書授与式を終えて

学長 佐藤 守男

そのためには、ご自身のライフデザインを立てておくことも良いでしょう。

今まで女性は出産や子育てを機に退職するケースが多くあります。しかし、男女雇用機会均等法などの法律が整備され、女性としての働き方が随分と改善されました。ですから、女性の皆さんは、ただがむしゃらに働くのではなく、例えばいつ頃家族を持ち、そして将来はどのような形で社会に貢献したいかなど、自分らしい生き方を計画してほしいと思います。

そうは言っても、怪我や病気、または更年期に差し掛かるなどして、急に心や身体が動かなくなったり、働く気力がなくなることもあります。そんな時は少し立ち止まって、休むのも良いかもしれません。人生長いのですから、自分を追い込まないようにして、自分らしい生き方をして欲しいものです。

5月1日に戦争のなかつた「平成」から「令和」に元号が変わりました。卒業パーティーを開催している卒業生の皆さん、ご卒業、ご修了おめでとうござります。本学を巣立ち、そろそろ3カ月が過ぎようとしていますが、新しい環境にも慣れ、学生時代のことを思い出しますが、新しい環境にも慣れ、学生時代のことを思い出します。本学アリーナを会場として頃かもしません。

さて本学では、卒業・修了式当日に学生主催による卒業パーティーを開催しております。2013年は本学アリーナを会場としております。卒業生の皆さん、ご卒業、ご修了おめでとうござります。卒業パーティーは、お別れの内容は、各グループに委ねられましたが、グループ毎に割り当てられた教室にて執り行うこととなりました。その内容は、各グループに委ねられましたが、グループ毎に特色のある非常に密度の濃い時間を過ごすことができましたと聞いております。卒業パーティーは、お別れのセレモニーではなく、共に研鑽を積んだ仲間たちとの友情を確認し合い、お互いにエールを贈り合う場であると思います。どうぞ、この和泉の学び舎を、友人との再会の場としてください。そして、教職員にも近況をご報告ください。自分の夢に向かって研鑽を積んだ結果が、新しい「令和」の時代に花開くことを願つて已みません。



卒業パーティー

学生部長 大下 聖治



2018年度 表彰者

真鍋記念奨学金（後期）

第55回入学式を迎えて



新入生の言葉

児童福祉学科 瀧澤 実代
(県立弥栄高等学校出身)



私は、間近で子どもの成長にたずさわれる保育士になりたいと思い和泉短期大学へ入学しました。和泉を選んだきっかけは、二年間という短い時間の中でより深く保育や福祉について学ぶことが出来ると同時に、人としても成長することが出来ると感じたからです。

入学してからの学びでは、沢山の新しいことを知り、その中で今までと違う視点で考えることが出来るようになりました。これから学びの中でも様々な知識を得るとともに、自分自身が成長することが出来るのかと不安に感じることもありますが、目標である子どもや保護者の立場で考えることのできる保育者になるために、日々の積み重ねを大切にしていきたいと思います。

専攻科介護福祉専攻 戸栗 知春
(県立厚木西高等学校出身)



私が専攻科介護福祉専攻に入学したきっかけは、今一緒に暮らしている祖母のことでした。今まで祖母の入浴などで介助するにあたってあまり上手いかなかつたりスマートな出来なかつたりしたため、高齢者の介護や介助の仕方について興味を持ち詳しく勉強をしてみ

たいと思うようになりました。4月からすでに車いすや障がいについてなど様々な授業が始ままり、児童福祉学科とは違った学びやより深いことを勉強しています。1年間の学びを通して利用者のことを第一に考えて1人ひとりに合った支援が出来るような介護福祉士になりたいと思っています。そのためにも、授業を大切にしてこれから実習での経験を活かし成長出来るようにしたいです。

—2019年度新入生研修会を開催—

(2019年4月5日(金))

4月5(金)和泉短期大学の新入生が宗教部主催の新入生研修会に参加しました。

キリスト教信仰に基づく建学の理念を持つ和泉短期大学での学生生活の始まりに、今後の学びの礎を培うためのプログラムとして行われました。

第一部は日本福音ルーテル東京教会牧師 関野和寛牧師による『キリスト教はロックだ!』と題した音楽講演会でした。牧師だけのロックバンド「牧師ROCKS」でベースを弾いている先生から「牧師の本音」を語り歌って頂きました。ご自身が作詞作曲した曲をギターの伴奏で歌い、教会を通して出会った人々との様々なエピソードや牧師になるきっかけとなった出来事の体験をありのまま語ってくださいました。また、「愛とはあなたのためなら死んでもいい」という意味であると紹介し、イエス・キリストの十字架上での死は「いかにあなたは神に愛されているか」の証明であると解説されました。



第二部の宗教部オリエンテーションは、宗教部長の西田恵一郎チャプレンにより行われました。学生生活を支える礼拝についての解説ではパイプオルガンの豊かな響きとともに讃美歌を歌い、祈りを合わせる体験もしました。さらに和泉短期大学における各種の宗教活動についての紹介と参加の促しが行われ研修会を終了しました。



和泉短期大学父母会総会・ 第9回保証人連絡会・懇親会開催

2019年4月1日(月)和泉クラーク・ホールにおいて、2019年度父母会総会が開催されました。

父母会総会は、顧問である佐藤守男学長の挨拶、加納父母会長の挨拶(代読)の後に、2018年度事業報告・決算報告、2019年度事業計画・予算案、2019年度役員の選出について審議し、全て承認されました。2019年度の父母会長には、平岩夏美様が就任されました。

第9回保証人連絡会は、教務部長による和泉での2年間の学び、学生部長による学生生活における諸注意と保証人の皆様への協力要請がありました。

その後、新入生のご家族のみなさまと教職員との懇親会を開催し、とても有意義な時間を過ごすことができました。



TOPICS

同窓会いづみ第9回定期総会

2019年2月23日(土)和泉クラーク・ホールにおいて、2018年度 同窓会いづみ第9回定期総会を開催し、卒業生85名、退職された先生を含む教職員16名、卒業生のお子様たち合わせて110名を超える参加がありました。

伊藤忠彦理事開会祈祷、深町正信理事長挨拶、佐藤守男学長挨拶、遠藤陽子同窓会会长挨拶に続き、2018年度の活動報告と中間決算報告、2019年度の事業計画(案)と予算(案)について審議し、全て承認されました。

定期総会後は、退職された先生方と卒業生との交流会が行われました。2015年度卒業生有志が企画・運営を担当し、思い出の写真が詰まったVTRや、クイズ、じゃんけん大会などを行い、また、退職された先生方、教職員と卒業生との懐かしい思い出話に花が咲き、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



2018年度第5回FD・SD合同研修会

2019年3月13日(水)13:00~15:40第5回FD・SD研修会を行いました。学校法人を取りまくリスクは多岐にわたり、リスクマネジメント・危機管理の重要性がますます高まっていることに対応するものです。

■第一部(講義)

テーマ:「学校における緊急時対応のポイント」

講 師:東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 ビジネスリスク本部
主任研究員 城野 崇氏



■第二部(グループワーク)

テーマ:「リスクマネジメント・危機管理に関する検討課題」

講 師:東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 ビジネスリスク本部
主任研究員 城野 崇氏



6人ずつ8つのグループとなり、メディア対応を中心としたグループワークで、グループ内で危機を想定し、意見を出し合い、発表しました。「リスクマネジメントと危機管理」について、組織全体での取り組みをさらに強化する必要があることを認識しました。

第31回介護福祉士国家試験合格を祝って

2019年1月23日(水)専攻科介護福祉専攻学生8名の介護福祉士国家試験に向けて、佐藤学長、土橋事務局長、曾根学生支援ユニットリーダーより激励の言葉を送りました。専攻科 介護福祉専攻は、2010年4月に設置。2017年度より国家試験が導入されました。

2019年1月27日(日)第31回介護福祉士国家試験に全員が合格できますように当日の寒さ対策としてブランケット、カイロ、合格祈願の菓子を贈りました。今まで1年間勉強してきたことを活かして自分の力が出せるよう、教職員一同祈っております。



第31回介護福祉士国家試験結果発表 <8名全員合格>

第31回介護福祉士国家試験の結果が、2019年3月27日(水)に発表されました。

和泉短期大学 専攻科 介護福祉専攻の学生は8名受験し、全員合格しました。

合格基準は総得点125点に対し、得点77点以上の方です。合格率73.7% 和泉短期大学は100%です。

この1年間、一生懸命、真摯に授業、実習そして国家試験対策に取り組んだ成果です。

今後は介護福祉士取得者として、それぞれの専門職として、さらなるご活躍されることを心からお祈り申し上げます。

スクールバスが2019年4月より新しくなりました

2019年4月1日(月)より新スクールバス4台(大型3台、中型1台)を導入しました。スクールバスの運行は大新東株式会社に委託します。2019年3月27日(水)に納車され、スクールバス駐車場で「納車式」を行いました。納車式終了後、スクールバスの内覧が行われ教職員が実際にバスに乗車して新車の乗り心地を確認しました。新スクールバスはアイボリーにスクールカラーのモスグリーンの和泉短期大学ロゴが映えるとても品のよいデザインになっています。



地域連携

相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定証贈呈式

本学と相模原市との包括連携協定に基づいて、2018年度「相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定制度」が実施されました。

この制度は、在学時に一定以上の地域活動・市民活動を行った学生に対して、相模原市から認定証が授与されるものです。本学からは2年生8名が“ボランティア博士”2名、“ボランティア修士”4名、“ボランティア学士”2名に認定されました。相模原市内での活動としては、里親家庭支援センターや相模原中央支援学校などのボランティア、学内で行う子育て広場「はっぴい」他での活動に取り組みました。

2019年2月25日(月)相模原市中央区のけやき会館内で行われた認定証贈呈式に、櫻井地域連携推進センター委員長、学生3名が出席し、齋藤憲司市民局長から認定証が授与され、本学児童福祉学科2年の今村風香穂さんが、“ボランティア学士”を代表して挨拶しました。和泉短期大学はこれからも学生とともに地域に貢献してまいります。



「国際ソロプチミスト相模」2018年度助成金贈呈式

2019年2月21日(木)相模原市民会館議室にて、「国際ソロプチミスト相模」(永保恵子会長)から和泉短期大学(土橋事務局長が出席)、神奈川県立相原高等学校、相模原市立共和中学校の3校に対し助成金の贈呈式がありました。

国際ソロプチミスト相模から本学に対しての助成金は、2005年度から始まり本年度で14回支援していただいている。

大切な助成金を有効に使用させていただきます。



2019年度 学校法人和泉短期大学 第20回創立記念フェア開催

5月15日(水)「創立記念フェア」を開催しました。

朝早くから1号館自動販売機前には、無料ドリンクを求めて長蛇の列ができました。学内の「フェアの案内ポスター」を見て学生はフェアを楽しみに待っていてくれたようです。

フェアの主な内容

- ・学生食堂：100円ランチ(和泉特製タコライス又はカレーライス)(200食限定)
～食事をした人は、くじ引きで当たるとお楽しみプレゼント♪～
- ・コンビニ：全品20% OFF！～“名物ガチャポン！外れなしのくじ引き付き～
- ・自動販売機：無料ドリンク200杯限定(カップ式アイス&ホット飲料)

2014年5月から始まったフェアも20回目となりました。



100円朝食の提供を始めました

2019年4月8日(月)より、学生食堂で100円朝食の提供を開始しました。毎週月曜と水曜の週2回、8時00分～9時00分。

メニューは日替わりで、ホットドッグとコーンスープ、玉子サンドとクラムチャウダーなどです。朝食を食べた学生からは「今日は雨が降って寒いので、コーンスープが嬉しい。心も温まります」「100円でこのボリューム！超嬉しい！」などの感想がありました。

朝食は1日を活動的に、そして健康的に過ごすために欠かせないもので、朝食を抜いてしまうと、集中力がなくなります。和泉短期大学は、学生の皆さんの健康を考え、食生活をサポートして参ります。

和泉短期大学 公式ホームページ

2019年6月3日(月)に和泉短期大学の公式ホームページをリニューアルしました。和泉短期大学の日常を動画やトピックスでお伝えします。ぜひご覧下さい。



2018年度 第8回ベストオブスタッフ賞(事務局長賞)

教育・学習支援ユニット主任 穴井 康夫

今回の受賞にあたり、まずはお支えいただいた教員・職員の皆様へ心より感謝申し上げます。

教務は学生や教員と必然的に関わる部署であり、各種申請作業も担うことから苦手意識が強く、今でも人前で話すことや、情報を伝達することなど、あまり得意ではないと感じています。再課程認定を振り返りますと、最初の説明会で配布された手引きの厚さ、資料の多さに驚かされ、文章を読み解くことから始めたことを思い出します。解説をしてくださった方、情報収集に協力してくださった方、また授業内容を構成するにあたっては全教員の専門性を存分に発揮いただき、教職協働によって今回の認定に結びついたのだと思っています。

本学がキリスト教に起源を持つ大学であることは既知の事柄ですが、こらから先、保育者を志す学生に何を伝えていくべきなのかを改めて考える機会になりました。公共性に資する大学の事務職員として、これからも学生・教員を支援していきたいと思います。(2019年4月1日)



2018年度「愛のいづみ基金奨学金募金」報告

2018年度に創設致しました「愛のいづみ基金奨学金募金」報告を致します。多くの皆様にご賛同いただき、心から感謝申し上げます。

募金目標額	3,000,000円 (3名)	ご寄付者総数	26件
募金期間	2018年11月～2019年3月	寄付金総額	725,000円
寄付者一覧(敬称略)	<2019年2月19日～2019年3月31日>	募金対象事業	経済的事情により修学困難な学生を支援するための本学独自の給付型奨学金基金
山鹿 唯一／新田 恭平／横川 剛毅／		奨学金実績	2018年度は、給付条件に該当する学生がいないため頂きましたご寄付は2019
いづみ会／匿名希望			
以上5件	170,000円		

2018年度『教育環境充実資金募金』報告

2018年度「教育環境充実資金募金」については、震災・災害対策として1号館図書館天井耐震補強工事に対して、1,145,000円を充当させていただきました。

ここに2018年度教育環境充実資金募金報告を致します。多くの皆様にご賛同いただき、心から感謝申し上げます。

募金目標額	10,000,000円	ご寄付者総数	71件
募金期間	2018年6月～2019年3月	寄付金総額	1,145,000円
寄付者一覧(敬称略) <2019年2月19日～2019年3月31日>		募金対象事業	震災・災害対策 1号館図書館天 井耐震補強工事
国際ソロプロチミスト相模原会長 永保 恵子／ 伊藤 忠彦／後藤 好夫／ 以上 3件 185,000円			



退任あいさつ

教授 片山 知子



幼稚園教諭として7年間保育と研究に取り組み、その後大学へ社会人で編入。卒業後は3人の子どもを育てながら幼稚園や学校、地域での活動を楽しみました。恩師に呼ばれキリスト教保育の現場に復帰。14年過ごしたのち和泉短大で専任教員として9年間お世話になりました。良き学生、教職員、父母会、同窓会の皆様との出会いに恵まれ心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



実習サポートセンター 助教 上田よう子



広報渉外ユニット主任 山脇祥子

どこに行つても「私も和泉の卒業生なんですよ！」
と声をかけられ、和泉短期大学の歴史に誇りと尊敬の念を抱く2年間でした。そして日々「おはようございまーす！」と声をかけてくれる学生の皆さん
の笑顔に元気をいたしました。和泉短
期大学の実習全般に関わらせていただいたこと、学生の皆さんに
なにができるか常に考えている情熱あふれた先生方や職員の方た
ちや、一生懸命日々前進している学生の皆さんに出会えたことは
私にとって宝物です。心より感謝申し上げます。和泉短期大学の
ご活躍を心よりお祈りいたします。

2018年度末で退任された非常勤の先生方（敬称略）

大内眞理子(1971年9月～1974年3月、1977年4月～2019年3月)〈器楽(ML・ピアノ)〉

川合 千晶(1976年4月~2019年3月)〈器楽(ML・ピアノ)〉

町田千保子(1976年4月~2019年3月)〈器楽(ML・ピアノ)〉

沼尾千代子(1979年10月～2019年3月)〈器楽(ML・ピアノ)〉

星出 雅子(1979年10月~2019年3月)〈器楽(ML・ピアノ)〉

辻 百合子(1982年4月~2019年3月)〈器楽(ML・ピアノ)〉

大石洋次郎(1991年 4月～2019年 3月)〈造形表現〉

須藤みぎわ(2006年9月~2019年3月)〈保育内容「表現」〉

永年、和泉短期大学の教育に貢献していただき感謝いたします。